



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第77号

2010.6.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」の名前をつけています。

もくじ

お知らせ

- ー 観察会の日程決定
- ー 「第8回 全国草原サミット・シンポジウム」の報告書をウェブサイトで公開
- ー NPO 法人 西中国山地自然史研究会総会を開催

活動報告

- ー 大瀆山の春植物観察会
- ー ブナ林の野鳥観察会

観察会案内

- ー 龍頭山の野鳥観察会
- ー 苅尾の昆虫観察会
- ー 霧ヶ谷湿原の植生調査 夏

お知らせ

● 観察会の日程決定

苅尾の昆虫観察会の日程が決定しました。6月19日（土）18時からです。詳しい案内は観察会案内のページをご覧ください。

● 「第8回 全国草原サミット・シンポジウム」の報告書をウェブサイトで公開

2009年9月26日～28日にかけて広島県北広島町において開催された「第8回 全国草原サミット・シンポジウム」の報告書を、下記ページ（全国草原再生ネットワークのホームページ内）に掲載しています。

<http://bit.ly/abp2xV>

※基調講演の内容や、各地からの実践報告、分科会の様子が報告されています。このサミット・シンポジウムで採択された北広島宣言は永久保存版です。

● NPO 法人 西中国山地自然史研究会総会が開催されました

2010年5月22日13時から、NPO法人に認定されて初めての総会が開催されました。正会員である15人が会場の山麓庵に集まりました。スムーズに議事が行われ、会に対する意見も飛び交い閉会となりました。その後霧ヶ谷湿原でミニ観察会が行われました。

観 察 会 報 告

●大潰山の春植物観察会

開催日時:2010年5月15日(土)9:30

講師:暮町昌保・佐久間智子

1週間前の天気予報では雨の予報でしたが、幸運にも予報が外れ集合時は快晴となりました。今回で4回目となった大潰山の春植物観察会、参加者は28名です。ダイセンミツバツツジの満開に逢うのはむずかしく、今回も講師の佐久間先生による里山の植物全般の観察会となりました。集合場所の大佐スキー場では、もう一人の講師である暮町先生によるタンポポ類の説明がありました。続いて、白川学芸員より、タンポポ調査のリーフレットが配布され、その主旨や参加方法の説明もありました。駐車場脇には、セイヨウタンポポと日本産のタンポポが自生しており、区別点や種子の採集方法について説明を受けながら、実際に参加者で比較し観察をしました。その後車で水越林道の登山口(標高710m)に移動しました。佐久間先生から「大潰山のスミレ」の資料が配布され、スミレの仲間には5種が基本型であることや、開放花と閉鎖花の繁殖戦略の説明がありました。参加者より、「この資料はわかりやすい」との声が多くあがりました。登山口から800m付近までは谷筋を進み、溪流ではオオルリの姿を見たり、鳴き声を聞くことができました。また、伏流水の噴出口ではタゴガエルの抱接を観察することができました。産卵の様子を見ることができたのは、貴重な機会でした。大潰山山頂(標高997.5m)で、昼食をとり、恒例の記念写真を撮りました。ここではガマズミの仲間やカスミザクラなどを見ることができました。北西登山道を下山し、鞍部(960m)付近では、マムシグサ・アケボノスミレ・コタチツボスミレなどを観察しました。今回の観察会で印象に残ったことは、佐久間先生からの「コナラとミズナラの違い」の説明です。見分けかたのひとつに、コナラは標高の低いところ、ミズナラは標高の高いところに分布するということがあるそうです。しかし、展葉の時期は、標高の高いところにあるミズナラが先で、コナラが後だそうです。この違いについて、とても興味を持ちました。山頂付近では蕾であったダイセンミツバツツジも大潰山を下るに従って、北西部の林床では満

開で、ツツジも満喫することができました。今回確認できたのは、ツツジは4種類、スミレは10種類でした。最後に、内藤研究員が駐車場付近の湿地(745m)で採集した、カスミサンショウウオの越冬幼生や今春孵化した幼生の説明をしました。来春の成体確認が課題となりました。[ないとうじゅんいち]



大佐スキー場駐車場で、本日の行程と目的を確認した。



ダイセンミツバツツジの特徴、葉の裏の毛を観察した。



登山道に入って、すぐに迎えてくれるのは「距が白い」オオタチツボスミレ。



山頂にあってもフモトスミレ。



日当たりが良いからか、山頂尾根のダイセンミツバツツジはたくさんの花を付けていた。

【みなさんの印象に残った物】

「ダイセンミツバツツジを知った」「全員良く勉強しておられた」「すみれの多さ」「ツアー登山のマナーの悪さ」「すみれや木々の多様なこと」「スミレにも沢山の種類がある」「スミレの名前を覚えられた」「ダイセンミツバツツジの群生」「アケボノスミレ・カスミサンショウウオ幼体」「ダイセンミツバツツジがとてもきれい(9)」「アケボノスミレがはじめて見たので印象的でした。」「スミレの説明」「メギ・カラスシキミ」「自然の良さ」「いろいろなスミレの可愛い花とダイセンミツバツツジの濃紅紫色に会えたこと」「新緑のやさしさ」「みなさん色々なことをご存知で先生だけでなく色々勉強になった」「下山時のダイセンミツバツツジがきれいでした」

【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「良い山の観察会でした」「何種類かおぼえたので次のステップにしたい」「いい勉強をさせていただきました。10の内2~3は覚えました」「植物の名が分かって良かった」「植物の名前の同定が中心になっていて もう少しその植物のおもしろい話を教えてもらいたかった」「大変いいお天気の中の登山は楽しく良かったです」「新緑が気持ち良かった」「天気もよく心がいやされました」「天候も良く花が咲いて、青葉もで良かったです」「初めて参加させていただきました。楽しく学ぶ事が出来てとてもうれしかったです」「ツツジ色よし。山頂部は株内でも咲いているのもつぼみもあり一度に咲かないんですね」「スミレの見分け方。だいぶマスターできました」「天候にも恵まれ良かった。山の緑の色が1本1本皆ちがうのが印象的だった」「植物の生態を教えていただき一つでも多く覚えたいと思います。機会がありましたら又参加させていただきたいと思います」「昨年も来ましたが、今回また新しいことを知ることができ楽しかったです」「山頂での山なみの美しさにひかれました」「ゆっくり花や木のしくみ 比較をしながら歩けた事」「ゆっくり楽しくよく観察することができた。」「木の特徴をたくさん覚ええました」

観 察 会 報 告

●ブナ林の野鳥観察会

開催日時:2010年5月23日(日)5:00

講師:上野吉雄・暮町昌保

早起きのプレッシャーと風の音であまり眠れないまま、早朝5時に雪霊水前へと集合しました。悪天候のためか、参加者は5人と少人数でした。観察会を始めるとすぐにキビタキの鳴き声が聞こえました。車道をゆっくりと歩きます。次第にクロツグミ、ミソサザイ、コルリの鳴き声も聞こえました。今回の講師である上野先生いわく、クロツグミは「深みのある声」だそうで、他の鳥の鳴き声を真似て鳴くというおもしろい特性を持っています。ミソサザイは、高い声で賑やかに「ピピピ、チリリリ」とさえずりを繰り返していました。コルリの鳴き方もおもしろく、鳴き声に慣れてくると、虫の鳴き声のような「チ、チ、チ・・・」という前奏が聞こえてきます。これは繁殖期の雄のさえずりだそうです。日本三鳴鳥のオオルリとウグイス、カラ類ではヒガラ・シジュウカラ・ゴジュウカラ、キツツキの仲間のアオゲラの鳴き声も確認できました。最後に雪霊水前まで帰ってくると、「キョロロロ・・・」というアカショウビンの鳴き声も聞くことができました。雨が降る中だったので、鳥の姿をあまり見ることができないのが残念でしたが、鳥のすんでいる環境や、習性のお話をたくさん聞くことができました。また、雨の中で見たブナ、ユキザサの花は大変きれいでした。上野先生が「マミジロやジユウイチは今回確認できなかった。少なくなっているのだろうか」ということをお話されました。鳥をとりまく環境が悪くなっているのかなあと気になりました。このブナ林で、たくさんの鳥が生息し続けるようにと願います。[このやよい]



車道沿いを耳をすませて歩く。



ウリハダカエデの芽鱗がたくさん落ちていた。



鳴き声だけじゃなく、姿が・・・見えるかな？



影は見たが、確認できず。残念・・・!?



ユキザサが咲いていた。



雨の中、木々が美しい。



最後のまとめ。今日確認できた鳥は11種類。(鳴き声だけでも含む)



ウグイスの鳴き声がきこえたところ。ササがあるとこに生息している。

【みなさんの印象に残った物】

「コルリの前奏」

【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「雨でしたが、思ったより鳥の声が聞けてよかったです。」

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳

作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● 龍頭山の野鳥観察会

開催日時：2010年6月12日(土) 6:00
集合場所：豊平どんぐり村駐車場
講師：上野吉雄
準備：基本セット、双眼鏡
定員数：30名
参加費：一般=300円 / 賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

北広島町豊平地区にある龍頭山で野鳥の観察をします。水辺の鳥、ブナ林にすむ鳥と、生息する環境の違う野鳥を観察することができます。早朝ならではのさわやかな空気を味わいながら、野鳥の声や姿を楽しみましょう。

● 苅尾の昆虫観察会

開催日時：2010年6月19日(土) 18:00
集合場所：高原の自然館
講師：清水健一
準備：基本セット、虫かご、網など
定員数：30名
参加費：一般=300円 / 賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料
※雨天中止となります。当日中止の可能性もあります。当日15時に催行を決定し、中止の場合は申込み者に連絡しますので、必ず事前申込みをお願いします。

夜の暗闇の中で行う灯火採集です。夜行性の昆虫がたくさん集まってきます。見所は美しい蛾の姿です。蛾の生態に詳しい清水先生のお話を聞くと、蛾の名前の由来や、暮らしがよくわかります。寒さ対策を万全にどうぞ。

● 霧ヶ谷湿原の植生調査 夏

開催日時：2010年6月26日(土) 9:30
集合場所：高原の自然館
準備：作業セット
定員数：30名
参加費：無料

工事が完成した霧ヶ谷湿原の植生調査を行います。1m×1mのプロットの中にある植物を班にわかれてデータをとっていきます。どんな植物が優占しているのか、去年と比べて変化があるのか、場所によってどんな違いがあるのか、など観察会とはまた違う視点で楽しめる調査です。初めての方も大歓迎です。



“広島さんぽ”という広島県観光連盟が発行する広報誌に八幡湿原が紹介されました。場所は水口谷湿原で、ハンノキ林と木道のとても緑が美しい写真(観光協会芸北支部：杉本洋子さんの撮影)が掲載され、問い合わせが多く寄せられています。6月の湿原は日々表情を変えながら、私たちに様々な姿を見せてくれるでしょう。梅雨入りも間近ですが、初夏を楽しみたいと思います。(この)

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
(ご意見・ご感想もお待ちしています)

高原の自然館 (こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1
tel. & fax : 0826-36-2008
<http://shizenkan.info/>
staff@shizenkan.info